

製品名: HP1 アルファウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02113**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 22 kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX5
別名	CBX5; HP1A; Chromobox protein homolog 5; Antigen p25; Heterochromatin protein 1 homolog alpha; HP1 alpha
遺伝子 ID	23468
SwissProt ID	P45973
免疫原	ヒト HP1α の合成ペプチド

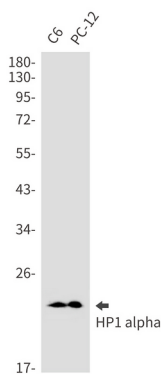
背景

ヘテロクロマチンの構成要素で、ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化 (H3K9me) を認識して結合し、エピジェネティックな抑制を引き起こす。一方、ヒストン H3 の Tyr-41 がリン酸化 (H3Y41ph) されると、クロマチンから排除される。ラミン B 受容体 (LBR) と相互作用する。この相互作用は、ヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与する。

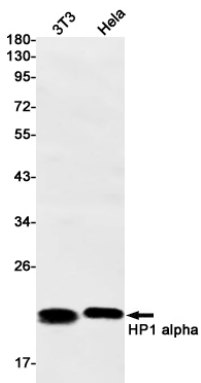
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

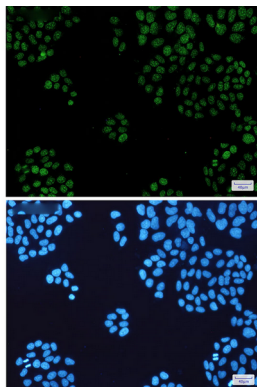
画像データ



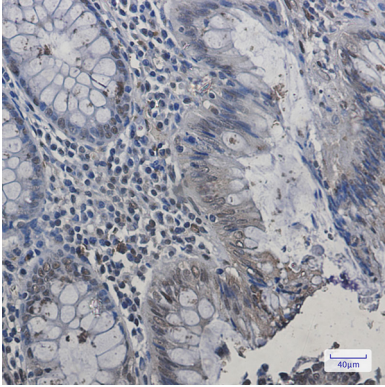
HP1 アルファ抗体を使用した C6、PC-12 溶解物中の HP1 アルファのウェスタン ブロット分析。



HP1 アルファ抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中の HP1 アルファのウェスタン ブロット分析。



HeLa 中の HP1 α (緑) の HP1 α 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析



HP1 アルファ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。